

2022年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

記入日 2023年9月28日

助成団体名 TORCH(トーチ)

企画テーマ	希望としての水俣を世界に発信するウェブサイト 制作プロジェクト（日本語・英語）
取り組み実施期間 または日時	助成決定日～2023年9月

【取り組み目的】

本プロジェクトの目的は、世界の人々に「今に至るまでの水俣」と「水俣からの希望の思想」を、特に水俣の若手の視点から、伝え届けることである。水俣は、近代という人間の性が生み出した水俣病事件という悲劇を体験し、今でも多くの患者が苦しんでいる現実がある。ただ、一方でそれを乗り越える希望と哲学も多く生み出してきた。今の水俣には、水俣病を忘れたいという動きと同時に、水俣病を過去のものとしないうために語り継ぐ動きや、水俣病があったからこそ、誰の命もふみ台にされない人にも自然にも優しい社会をつくりたいという若者たちの動きもある。悲劇の中から生み出された魂と哲学や新しい実践は、原発災害の被災者、いじめに苦しむ人々等にも希望を与えてきた。これらの希望をもたらす魂と哲学は、世界に発信していくべき財産である。

2021年には映画「MINAMATA」の公開が国内外で始まり、世界で水俣に関心を持つ人は増えると予想されました。しかし、今水俣に関するウェブサイトは、水俣病に特化したサイトか、もしくは水俣病にはほとんど触れない観光等の情報しかない。そこで本プロジェクトでは、人間が生み出した悲劇をこれ以上繰り返さないために水俣病事件を伝え続けたい一方、水俣病事件があったからこそその希望を紡ぎだす水俣の今、そして魂と哲学を、水俣に住む若者の視点から包括的に伝えるウェブサイトを、日英両語で作成する。本サイトが、水俣病事件から今の水俣を知りたい世界の人々の期待に応え、水俣病事件を忘れたいと思っている水俣の一部市民にも、希望と新しい認識を与えるものであることを目指す。

【取り組み内容】

《サイトの充実化》

昨年に引き続き、一般水俣市民からの記事の収集、既存記事の発掘と掲載などにより、サイト Minamata Impact の更なる充実を図った。これまでの掲載ページの閲覧数は延べ 15,736 人(昨年同月 8798 人)と閲覧数も増加している。最新の掲載サイトはこちら。

「水俣を子どもたちに伝えるネットワーク／田嶋いづみ」
<https://minamata-impact.com/2023/09/15/izumi-tajima/>



水銀研究家 赤木洋勝

<https://minamata-impact.com/2023/09/22/hirokatsu-akagi/>



《Minamata Impact ツアー実施》

これまでウェブ上で水俣の発信を行ってきたが、コロナも落ち着いた今期はよりリアルに水俣を感じてもらう事を目的として「Minamata Impact Tour Vol.1 = 水俣の海と人に出会う旅」を2023年8月11(金/祝)～12日(土)に実施。ネット上で募集を行い、東京から2名、京都から1名、福岡から2名、熊本から2名、合計7名の参加があった。ツアー内容 1)地元漁師さんのイワシ船で水俣の海をクルーズ&海のお話 2)水俣の海でSUP体験 3)地元人と交流会 4)漁師市 5)自分への水俣土産を作る 6)オプションツアー(水俣病関連地域を歩く)



以下、参加者からのツアーの感想の一部を掲載。

＝参加者感想＝

このような機会を与えてくださったスタッフの皆さまに感謝いたします。今回初めて熊本に来て訪れたのが水俣でした。地元の漁師さんのお話で「近代化とは何か」という問いが印象に残りました。実際に水俣の海に入ったり、埋め立てられたきれいな芝生の講演を見て、海が生きかえってよかったと感じました。これほど農産物、海産物に恵まれ、パラダイスのような土地で水俣病に苦しんでいる方々のことを思うと、近代化以前の昔に戻りたいと願います。仕事から高校生に接する機会があるので、ミナマティンパクトの経験を伝えていく所存です。(東京都在住 女性)

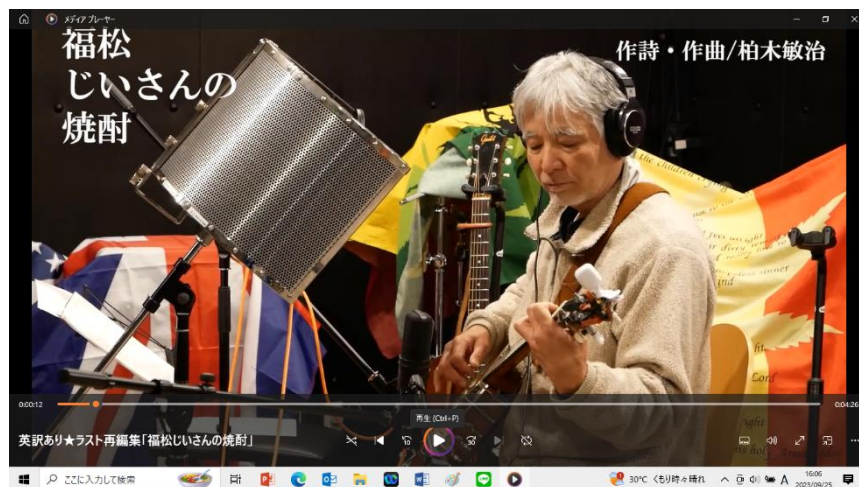
＝参加者感想＝

中高の教育プログラムは、学校で行われているところもあると聞きますが、大人の社会教育分野での公害教育は、昭和年代は多かったのですが、最近は少なくなってきた中で、このようなプログラム(ツアー)を開催していただき、ありがとうございました。(東京都在住 男性)

《音や音声で伝える水俣～音で感じる水俣》

今季は坂本しのぶさんの映像に続き、水俣病事件や水俣の希望を歌う「柏木敏治さん」の楽曲のレーディングを行い、映像を制作した。坂本しのぶさんの渾身のメッセージ、そして、水俣を音楽を通じて伝える映像を、日英で世界に発信した。今後いろいろな方法を用いながら水俣との出会いの入り口を作っていきたい。





You tube サイト

坂本しのぶさんインタビュー <https://youtu.be/i7XAAG2jhY0>

柏木敏治さん「福松じいさんの焼酎」 <https://youtu.be/R-dDngG4guQ>

【取り組みの成果】

2019 年度から始まったこの取り組みも、おかげさまで丸 4 年が過ぎた。「水俣・熊本みらい基金」の助成のおかげで、ゆっくりではあるが日本のみならず世界の人と水俣が会ってもらい「場」をサイト上に構築し続けることができている。今季からは文章で伝える水俣から、実際現地に来て水俣を感じてもらい、ミナマティンパクトツアーも実施。ツアーの参加者の中には東京在住の高校教諭の方もおられ、水俣での経験を、次の世代の彼らに伝えていきたいと話して下さった。そして映像、音楽という「音」で水俣を感じる新たな取り組みも始めた。今後も、水俣へいろんな入口を作りながら、水俣と会ってもらい「場」を作りながら、水俣病を過去のものとしないうために語り継ぐことへ取り組みを続けていきたい。